

編集後記

本年度の日弁会報を無事発行できる運びとなりました。最初に、日々の業務の間を縫って時間を割いて原稿を執筆していただきました先生方にお礼申し上げます。また、原稿の依頼や取りまとめ等をしていただきました会報委員の先生方、色々ご指導いただきました西出担当副幹事長にお礼申し上げます。当方の至らぬスケジュールリングのためにご迷惑をおかけした部分があったと思いますが、その点をご容赦くださいますようお願いいたします。

全ての原稿に目を通させていただき作業の中で様々なことを知らされ、また学ばせていただきました。原稿の内容はもちろんですが、いろんな先生方の文章表現も非常に参考になりました。この会報がお手元に届きました際には、ぜひ手にとってお読みいただければと思います。（辻田 幸史）

☆ ☆ ☆

担当に指名されたものの、編集方針も段取りが十分に把握できないままでのスタートとなってしまいました。しかし委員長のご努力により、日弁の活動が十分に伝わる本年度の会報がまとまりました。本会報を通じて、日弁での様々な公的活動や、会員の活発な活動が一人でも多くの会員の方に伝えることを期待しています。最後になりましたが、お忙しい中にも拘らず執筆依頼をお引き受け頂いた皆様にお礼を申し上げます。（市東 篤）

☆ ☆ ☆

各先生に原稿の執筆を電話でお願いする際、快諾頂ける先生、なかなか承知頂けない先生など、色々な先生がいらっしゃいます。各先生ともお忙しいことは十分承知しておりますが、やはり快諾頂けると、とても嬉しい気持ちになります。全ての依頼に対して快諾できるわけではありませんが、引き受けなければならぬ依頼であれば、快諾した方がいいなあ実感しました。（鈴木 啓靖）

委員会が立ち上がったから半年、やっと編集後記を書ける段階となりホッとしています。長かったような短かったような半年でしたが、振り返ってみると、仕事らしい仕事はしていないことに気がつきました。その分大変だったのは、辻田委員長でしょう。ありがとうございました。さらに大変だったのは、執筆してくださった先生方でしょう。誠に有難う御座いました。（高橋 大典）

☆ ☆ ☆

原稿を引き受けて頂いた先生方には、本当にありがとうございました。特に、会員便りの高橋俊一先生には、いきなりピンチヒッターをお願いしてしまい、申し訳ありませんでした。

また、当方の原稿チェックが甘く、会報委員長の辻田先生には、再確認のメール、FAXを何度もいただくことになってしまいました。お手数をお掛けしました。

そろそろ秋も深まりつつあり、会報もやっと終わったなという印象です。今年は、「日弁」会報委員を引き受け、その作業の間に、関係はないですが阪神タイガースのセリーグ優勝、日本シリーズ完敗があり、非常に充実した一年でした。来年あたりは、「日弁猛虎会」でもできれば、などと思っております。辻田委員長、お世話になりました。

（平川 明）

☆ ☆ ☆

メーカー勤務だった私が、特許業界に転職して、弁理士になろう！と決意するきっかけになったのは、文章を書くことが好きだったからでした。そのことにはっきりと気付かされたのは、組合の執行委員（教育宣伝部）をやったときのこと。社内報などの執筆、編集を手がけていたときに、本業のソフト開発よりも、文章を練っているときのほうが楽しくて楽しくて♪（同時に、私にソフトは絶対向かない！と改めて気付かされましたが（笑））。今回、会報委員のお話をいただき、やはり文章に縁があるなあと感じました。

そして、編集作業を通じて、いろいろな先生方の

原稿を読ませていただきましたが、その文章力の素晴らしさに感嘆しました！当たり前かもしれませんが、皆様、文章のプロなのです…。

不慣れな部分も多く、原稿をお願いした先生方、辻田委員長をはじめ会報委員の皆様には、ご迷惑をおかけしたことと思います。この場を借りてお詫び申し上げますとともに、執筆をお願いした先生方に、心から感謝申し上げます。お忙しいところ貴重なお時間を割いていただき、誠にありがとうございました。

(笹山 温子)

☆ ☆ ☆

本年初めて日弁の委員を勤めさせていただき、非常に貴重な経験となりました。

まずは、お忙しい中、短い期間で原稿を執筆していただいた先生方にお礼申し上げます。また、私の依頼が遅くなったために、ますます期間が短くなってしまったことをお詫びいたします。原稿を読ませていただいて、さすがに要職についておられる先生方の文章は格調が高い、言葉の選び方が熟慮されている、と感心することしきりでした。

「会員便り」は、私自身登録年数が浅いこともあり、若手の先生方に執筆をお願いしました。いずれも期待に違わぬ、肩肘の張らない個性的な文章で、やはり自分の人選は誤っていなかったと、この時ばかりは編集者として「してやったり」の思いでした。

(中隈 誠一)

☆ ☆ ☆

昨年に引き続き、会報委員を担当させていただきました。2年目にもかかわらず、「会員だより」を執筆される先生を自身で見つけられず他の先生に紹介いただいたり、校正作業が不十分であったり、この編集後記を催促されたりと、かえって足手まといになってしまったようで、恐縮する思いです。それと

共に、何事にもきっちりと取り組む、という諸先生方の姿勢を拝見することができ、たいへん勉強になりました。

最後になりましたが、お忙しいところ早く原稿執筆を引き受けてくださった先生方、および至らない小職を助けてくださった会報委員の先生方に厚くお礼申し上げます。

(井川 靖之)

☆ ☆ ☆

今回初めて会報委員を務めさせて戴きました。原稿をお願いした先生方には、お忙しい中、本業の事務所の仕事と、日本弁理士会、所属する会派、及びこの日本弁理士クラブの会務との合間をぬって執筆して戴き、本当にありがとうございました。また、辻田委員長をはじめとする会報委員の先生方には、大変お世話になりました。御礼申し上げます。

このように、日本弁理士クラブの各会派が協力して会報を発行し、各会派の先生方の隠れた一面を紹介することは、弁理士をより身近な存在として世の中に知らせるよい機会だと思います。今後も、この会報が、弁理士を紹介するプレスとしての力を発揮することを望んでおります。

(瀧野 文雄)

☆ ☆ ☆

本年は、会員のひろばを担当し、比較的楽をさせていただきました。ただ、原稿依頼先の津久井先生、村上先生は、大変だったと思います。日常業務はもちろんのこと、他にいろいろ活動されている中で、僅かな時間での執筆だと思います。にもかかわらず、早く引き受けて頂きまして大変ありがとうございました。また、本年の無名会関係は、平川先生におんぶにだっこでご迷惑をおかけしました。無事終了できたこと、本当にありがとうございました。

(須藤 雄一)